

菊池の灯り 万華灯

11月7日(土)、8日(日)

菊池市中央グラウンドで、菊池の灯り「万華灯」が行われました。午前中、子どもから大人まで多くの人が集まり、紙コップにひとつひとつ手作業でローソクを入れ、それを下絵の上に並べていきました。夕方、並べられたローソクに一斉に点火されると、鳳凰が菊池の秋の夜空を美しく彩りました。また、商店街でも灯りのモニュメントが作成され、より一層菊池の夜空を明るくしました。



ローソクに点火する子どもたち

菊人形・菊まつり

11月1日(日)～15日(日)

11月1日から15日まで、菊池市市民広場で菊人形・菊まつりが開催されました。

推進委員の皆さんが丹精込めて育成した色とりどりの大輪菊の鉢植え・懸崖(けんがい)・盆栽・小菊・菊人形など約3,000点が展示されました。また、五重の塔の菊も見事に咲き誇り、訪れた人たちから笑顔がこぼれていました。



見事に咲いた五重の塔

鞠智城国営公園化推進キャンペーン2009「鞠智城の日」

10月25日(日)

鞠智城国営公園化推進キャンペーン2009「鞠智城の日」が、菊池市と山鹿市にまたがる鞠智城で開催され、約2,500人が来場しました。

この鞠智城は、朝鮮半島白村江の大敗北(633年)を契機に7世紀後半、大和朝廷が築いた山城であり、百済の歴史的建造物として、大変貴重な歴史公園です。イベントには、関係の深い韓国から、忠清北道の沃川商業高校による伝統芸能「サムルノリ」や、地元である菊池子ども太鼓・菊池雲上太鼓・山鹿太鼓などが披露されました。



鞠智城のイメージキャラクター「ころう君」



沃川商業高校による郷土芸能「サムルノリ」

また、会場周辺では、勾玉づくり体験や物産展、古代米収穫体験など、さまざまなイベントが行われました。百済文化の粋を集めた山城を内部から見ることのできる八角形建物への登頂体験では、2日間で約700人が訪れました。

さらに、国営公園化推進キャンペーンの一環であるイメージキャラクターの表彰式も行われ、一般公募で寄せられたデザインの中から選ばれた「ころう君」もお披露目されました。

茶道を通して 和のこころを大切に!

10月23日(金)

加茂川保育園(園長 園長)の年中・年長児によるお茶会が、加茂川保育園で開かれました。茶道を通して、子どもたちに日本の心を大切にしてほしいという願いで開かれたもので、当日は、園児の祖父母などが招かれました。

年中児によるお迎えの挨拶の後、一人ひとりに、「お菓子をどうぞ」と言いながら、お菓子を上手に渡したり、年長児が「お茶をどうぞ」と出したり、「お下げいたします」とお茶碗をさげるなどかわいらしい姿に参加者はほほ笑んでいました。



招いた参加者へお茶を渡す園児たち

第10回親子ふれあいミニバレー大会

10月19日(月)

くらだけ友の会(菊池市子ども会旭志支部)主催による第10回親子ふれあいミニバレー大会が、旭志体育館で開催されました。旭志地域の中学生とその保護者34チーム(約230人)と旭志中学校の先生2チームの合計36チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。パート優勝の結果は次のとおりです。(敬称略)

Aパート 楠原・丸ノ峰A、**Bパート** 桜ヶ水A、**Cパート** 川下A、**Dパート** 川辺南、**Eパート** 旭志中エキスパーツ、**Fパート** 伊萩D



熱戦が繰り広げられた試合

泗水としゃかんまつり

11月7日(土)

泗水図書館で、としゃかんまつりがあり、～未来に伝えたいもの～をテーマに、館内では明治・大正・昭和のベストセラー本などの展示や、本を大切に扱って欲しいというメッセージをこめたマイバッグコーナーには、利用者が手作りしたバッグが多く展示されました。また、ボランティアによる絵本の読み聞かせ、昔話の語りなどがあり、ラジオパーソナリティ寿咲亜似さんと西川美紀さんによる、語りと琴の共演が行われるなど、参加者は「読書の秋」を満喫していました。



ボランティアによる絵本の読み聞かせ

第2回旭志ふれあいニュースポーツ大会

10月25日(日)

旭志グラウンドで、旭志ふれあいニュースポーツ大会が開催されました。今大会では、旭志の小学生と保護者、そしてグラウンドゴルフ愛好者の幅広い世代が参加し、グラウンドゴルフ・ペタンク・アジャタ・ドッチビーの4種類を行いました。これらのニュースポーツは子どもから高齢者まで一緒になって競技ができ、慣れない競技に最初は戸惑っていた参加者も、各世代対抗で競技したり、全世代で協力して競技を行うものなど、楽しいひと時を過ごすことができました。



ドッチビー競技をする参加者たち